

# 鳥取ループを断罪する!

～ 部落解放運動の営みは止めない ～

「全国部落調査復刻版」裁判闘争  
**判決は、9月27日**

判決まで、闘いはとめない

3月18日、東京地方裁判所で「全国部落調査・復刻版」の出版禁止等における最終弁論があり、結審となった。

この裁判は「鳥取ループ」をなめるネットユーザーが「部落解放同盟関係者一覽」を部落解放同盟や共闘する団体・研究所関係者などの個人情報等を不正にネット上に公開すると同時に、1936年の政府資料である『全国部落調査(非公開資料)』を入手し、差別をおおる目的で『全国部落調査・復刻版』を出版し

ようとしたことへの、部落解放同盟中央本部を中心に個人情報等を不正に使用された248人の原告団による裁判闘争である。この闘いは、2016年の春から、結審まで5年間に及ぶ裁判闘争となった。

裁判は、8回の意見陳述、裁判所と原告・被告における事務協議、4回の証人喚問を経てきた。8回の意見

第66回県連大会が終了した。詳細は、次号に掲載するが、今年も昨年につづき新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、執行委員と県委員、両委員を輩出していない支部長の参加となった。大会内容も十分考慮し、予定より早く終了することができた。これもひとえに「これ以上、私たちの解放運動を止めることはできない」からだ。

私たちの運動は、人と人とのつながりが基本となり、そこで悩みや困りごとをともに解決し、地域コミュニティを構築してきた。世代を超えてともに生きることをつづけてきた。いわば、孤立しない、させないための運動なのだ。そ

## 主張

### 部落解放運動を

### 前進させる!!

弱者にしわ寄せされ、零細企業の多い部落の企業者の悲痛な悲鳴は、現在もつづいている。このような状況が2年目をむかえた今、私たちが積み重ねてきた運動の成果を発揮しなければならな

かし、これらはすべて人間の仕業であり、私たちが解決しなければならぬ諸課題なのだ。これまで、部落差別という大きな山塊を部落民みずからの力で少しずつ崩し、先へ延びる道を固めてきた。それらの過程に

なつた行為が、いかに差別をさらし、あおるものであるというこがいわれた。逆に、被告側の主張は「講演や書籍・資料などでみずからの個人情報を開示して悪いのか」と主張し証人喚問のなかでも、原告側は「差別を解消するための公表と差別を助長する目的の公開は全く違う」と反論した。

陳述のなかで、原告側としては『全国部落調査・復刻版』の出版は、1975年に部落差別により就職や結婚における差別利用を目的とした書籍、『部落地名総鑑』事件の再来である「さらには、『部落地名総鑑』事件以降、関係した企業等における長年のとりくみをおおる長年のとりくみをおおる」と主張し、原告側は「差別を解消する目的の公表と差別を助長する目的の公開は全く違う」と反論した。

今回の最終弁論では、原告側の主張として「全国部落調査・復刻版は、差別利用以外の使用目的はかんがえられない」「これまでの差別的身元調査や『部落地名総鑑』事件以降、宗教界や企業の差別解消のとりくみを台なしにする行為である」「どのような状況下においても人間は差別されない」とした日本国憲法違反である」との主張し、裁判を終えた。

裁判終了後、日比谷公園図書館ホールでの報告集会には、裁判の経緯にあわせ弁護団4人から、それぞれ思いが伝えられたあと、中央本部からの行動提起として、判決の下る9月を待たず行動をすることが提起された。中央本部から、差別を助長するサイトへの広告掲載にかかわる自主的な記載制限と削除要請、ネット上のスポンサー協力の停止要請をおこなうこと。各都府県連では、モニタリングの強化、地方事務局と行政の連携強化のための要請行動が提起された。

はじめに、村井康利・中央青年運動部長から「コロナウイルス感染症問題が長期化してきているなかで、今年の全国高校生集会・全国年集会をするのかどうかをしていきたい」とあいさつした。つづいて、各府県連のとりくみの報告があり、和歌山からの報告で久保智弘・事務局長から「昨年からは今年にかけて、web開催された「近畿・東海・北陸ブロック青年交流学習

会」や兵庫県連主催の「web学習会」に和歌山から参加したことを報告した。最後に、第53回全国高校生集会・第65回全国青年集会の開催について議論され、「皆様方の意見が聞けたので、コロナウイルス感染症状況をみて4月末日まで開催するかどうか、結論を出して報告する」と村井康利青年運動部長から意見が述べられた。

この裁判は、個人情報の不正使用における損害賠償請求と部落差別行為が犯罪であるという法的根拠を示す初めての裁判であり、この判決によっては、今後のとりくみに大きく影響するものとなる。

第77期  
**第1回全国青年運動部長会議**  
Webで開催


**文化の窓**

「地元メディアが見た二階俊博力の源泉」

著者:和歌山放送法報道制作部  
出版社:創藝社、ISBN:978-4-881 44-255-5

和歌山放送が2020年2月5日にひらいた「二階俊博・政治生活45年を振り返って」という講演会をまとめた一冊。本文中に7つあるコラムのひとつに『「破壊」から部落差別解消法へ』とある。二階幹事長がはじめて部落問題とであったエピソードが記されている。法制定の根源はここにあったのだ。

◆お問い合わせは県連・教宣部まで  
**TEL 073-473-2301**



二階俊博の力の源泉